

弊社はダイバーシティ & インクルージョンの活動として、経営トップ自ら健康管理最高責任者（CHO）となり、2018年9月に「健康経営宣言」を制定しました。

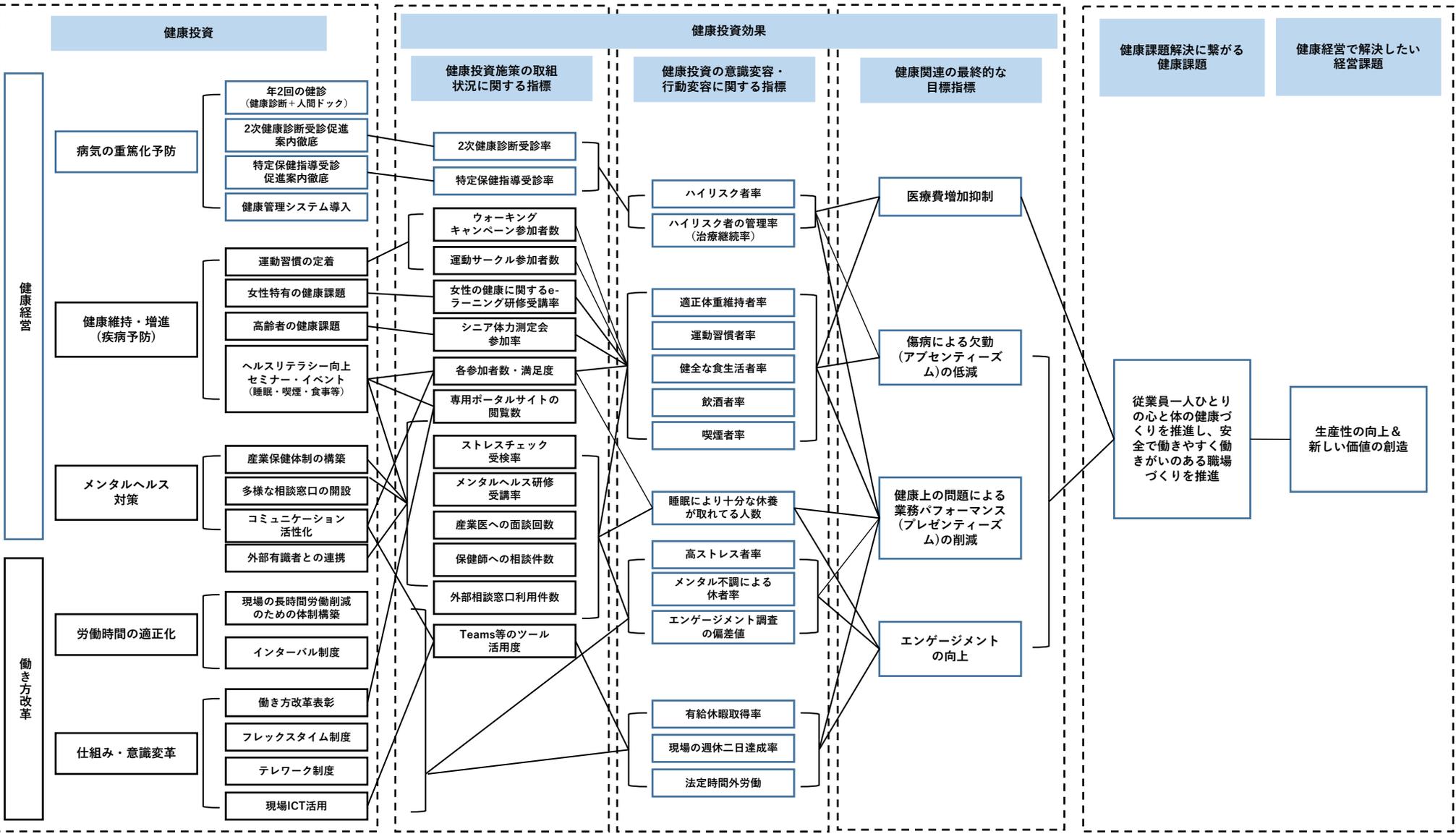
従業員一人ひとりの心と体の健康づくり、安全で働きやすく、働きがいのある職場づくりの、働き方改革と健康経営のW改革を推進しております。

重点施策として、健康経営では“病気の重篤化予防”および“メンタルヘルス対策”を、働き方改革では“労働時間の適正化”および“意識の変革・仕組みの見直し”を実施しています。これらの取組み結果は、従業員のエンゲージメント調査結果、離職率や休職率、業績に表れてくるものと考えております。従業員のエンゲージメントは、職場の環境、心身の健康状態、適切な業務量・適正な労働時間に相関があることが分かっており、健康経営、働き方改革、両面からのアプローチが必要不可欠です。

引続き、働き方改革と健康経営のW改革で、従業員のエンゲージメントを高めることが、生産性・企業価値の向上に繋がるという仮説のもと、俯瞰的、包括的な視点から必要な施策をスピード感をもって講じてまいります。

この活動を従業員および従業員のご家族の皆さまとともに進めていくうえで、弊社の健康経営戦略を公開いたします。

健康経営戦略図 (2024)



【主な施策結果】
2024年10月時点

・ウォーキングキャンペーン参加者数 364名

・運動サークル参加者数 260名

・メンタルヘルス研修受講率 100%

・睡眠セミナー満足度 93.2%

・女性の健康課題に関する研修受講率 89.8%

・シニア体力測定会参加率 79.0%